

## 主 要 年 表

年 月	事 項
昭和37年 1月	町制を施行し内灘町となる。
4月	内灘中学校校舎完成する。
5月	小・中学校の遠距離通学者のため、スクールバスの運行開始。
6月	「広報うちなだ」第1号を発刊。
昭和38年10月	内灘町商工会発足。
10月	内灘町撚糸工業協同組合設立。
12月	中山又次郎著『内灘郷土史』出版。
昭和39年 1月	内灘町漁業者転業対策本部を設け町長本部長となる。
6月	七百町歩問題、東京高裁で和解成立。
9月	河北潟干拓本工事開始。
10月	東京オリンピック開会。
11月	宮坂公民館新築落成。
昭和40年 4月	向栗崎公民館新築落成。
5月	内灘町体育協会発足。
5月	向栗崎・内灘中央・北部の3漁協合併し、内灘町漁業協同組合となる。
7月	内灘町営海水浴場オープン。
昭和41年 9月	町内小・中学校で学校給食が始まる。
9月	中山又次郎内灘町名誉町民となる。
昭和42年 3月	内灘第1児童館を室に建設。
7月	島崎悦吉内灘町名誉町民となる。
11月	鶴ヶ丘東公民館完成。
昭和43年 2月	西荒屋から七塚町白尾に至る農免道路完成。
3月	西荒屋小学校移転新築。
6月	大根布（河北潟）放水路開通。
11月	役場庁舎新築完成。（現保健センター）
12月	内灘大橋渡りぞめ式行われる。（現内灘橋）
昭和44年 5月	ビニール水田の造成完了。
7月	アメリカの宇宙船アポロ11号人類初の月面着陸に成功。
9月	内灘町の人口1万人を突破。
10月	北部保育所・西荒屋公民館落成。
11月	河北郡共同斎場落成。

昭和45年 5月	火力発電所建設計画について町と北陸電力の合意成る。
7月	火電建設反対運動が起こり「内灘公害阻止連合」結成。
7月	大根布小学校校舎新築。
9月	鶴ヶ丘西公民館落成。
昭和46年 3月	鶴ヶ丘2丁目に内灘警部補派出所（現内灘交番）設置。
4月	旭ヶ丘公民館落成。
7月	鶴ヶ丘郵便局開局。
7月	向栗崎3丁目に少年の家完成。
9月	室で土砂崩れあり8戸の民家に避難命令出る。
11月	内灘砂丘北部農免道路（大根布－西荒屋間）開通。
昭和47年 1月	町制施行10周年記念式典挙行。
4月	鶴ヶ丘保育所開設。
5月	沖縄が日本に復帰。
6月	金沢医科大学開学。
昭和48年 2月	中村小重町長、北陸電力に火力発電所建設拒否の公文書を提出。
7月	内灘町福祉センター「憩」完成。
11月	鶴ヶ丘北公民館完成。
昭和49年 3月	宮坂公民館改装成る。
4月	鶴ヶ丘東保育所完成。
9月	内灘町消防署業務を開始する。
9月	内灘町野球場完成。
9月	金沢医科大学病院開院。
10月	内灘町体育振興事業団設立。
12月	能登海浜道路全線（羽咋市柳田－金沢市栗崎間）開通。
12月	内灘マリーナ完成。
昭和50年 1月	内灘町青年団協議会結成。
3月	内灘中央公民館落成。
3月	井上靖文学碑除幕式行われる。
4月	大根布小学校を大根布南小学校とし、大根布東小学校分立する。
6月	内灘町総合公園が福祉センター前に開園。
10月	内灘町土地開発公社を設立。
11月	緑台公民館完成。
昭和51年 4月	内灘体育館完成。

4月	内灘町武道館完成。
7月	内灘町霊園第一期工事完了する。
11月	内灘町商工会館完成。
昭和52年 4月	内灘町福祉センター老人棟完成。
4月	内灘町弓道場完成。
4月	向陽台に交通公園開園。
7月	向栗崎、中央、北部の3農協が合併し、内灘町農業協同組合となる。
7月	向栗崎小学校が加能学園跡地へ移転、新校舎完成。
8月	第1回内灘町民夏まつり開催。
10月	向栗崎児童館で学童保育始まる。
12月	アカシア公民館新築完成。
昭和53年 3月	内灘町基本構想が議会で承認される。
4月	内灘町海洋少年団結成。
6月	黒津船地内、宮坂と合併。
昭和54年 4月	内灘町歴史民俗資料館完成する。
4月	内灘サイクルスポーツセンター完成。
7月	内灘町の人口2万人に達する。
10月	内灘中学校相撲場完成する。
11月	内灘町文化会館開館。
11月	町の木、町の花、町の鳥制定される。
12月	内灘町文化協会結成。
昭和55年 3月	内灘町勤労者体育センター完成。
4月	能登海浜道路内灘インター使用開始。
5月	内灘総合グラウンド（陸上競技場）完成。
10月	北海道羽幌町と姉妹都市の提携を結ぶ。
12月	内灘町働く婦人の家完成。
12月	千鳥台公民館完成。
昭和56年 3月	内灘町サイクリングターミナル完成。
3月	内灘電話局、金沢局に包含され、市外局番なしで金沢との通話可能となる。
7月	河北潟干拓地へ酪農家入植。
12月	名誉町民中山又次郎没。
昭和57年 1月	町制施行20周年祝賀式挙句。
1月	「内灘町史」発刊。

1月	内灘町民憲章制定。
10月	「うちなだ国際ゲートボール村」開村。
12月	大学公民館落成。
12月	大根布東小学校増築完成。
昭和58年 1月	町制施行20周年記念映画「はたちの鼓動内灘」制作。
1月	勤労者体育センターに屋内ゲートボール場完成。
3月	学校給食共同調理場落成。
3月	室児童公園完成。
6月	参議院議員選挙全国区制が比例代表制となる。
9月	第1回内灘町美術展開催。
11月	向栗崎東集会場完成。
12月	清湖大橋（二車線）開通。
昭和59年 9月	内灘中学校増築工事完成。
10月	「向栗崎」町名を整理、向栗崎1・2丁目、千鳥台2丁目新設。
11月	「北部地区開発基本計画」策定。
12月	「内灘町基本構想」策定。
12月	大清台公民館完成。
昭和60年 3月	内灘派出所が内灘幹部派出所に名称変更され、新築成る。
5月	「内灘町議会だより」第1号を発刊。
8月	全国高校総体自転車競技が内灘町で開催。。
9月	西荒屋小学校大規模改修工事完成。
昭和61年 3月	内灘共同福祉会館落成。（現鶴ヶ丘東公民館）
3月	内灘町行政改革大綱策定なる。
4月	石川県立内灘高等学校開校。
5月	国営河北潟干拓地の干拓事業完了。
10月	「室青塚」9番目の町文化財（史跡）に指定。
昭和62年 3月	都市計画道路「大根布線」が開通。（小濱神社横から県道）
3月	アカシア緑地（現おおどおりパーク）供用開始。
4月	総合公園拡張事業始まる。
9月	大根布南小学校（現鶴ヶ丘小学校）大規模改修工事完成。
10月	内灘駅前整備工事完成。175台駐輪場供用開始。
昭和63年 3月	放水路左岸に大島桜植樹。
11月	河北潟酪農団地で第1回もうもうフェスタが開催。

12月	内灘町生きがいセンター開設。
平成元年 1月	昭和天皇崩御。翌1月8日より元号「平成」となる。
2月	内灘町消防庁舎増築完成。
3月	内灘町勤労青少年ホーム完成。
3月	内灘中学校体育館完成。
3月	「清湖大橋」拡張工事（全面4車線化）完成。
5月	第1回日本海凧揚げ大会開催。以後平成4年より「世界凧の祭典」として継続。
5月	平成3年石川国体内灘町実行委員会設立。
6月	公共下水道事業第1期工事完了。内灘町浄化センター供用開始。
11月	内灘町文化協会10周年記念式典挙行。
平成 2年 4月	内灘町民プールにエアドーム完成。
6月	内灘砂丘放水路温泉湧出。（ふるさと創生事業）
7月	北海道羽幌町姉妹都市提携10周年記念式典挙行。
9月	町民公募によるコミュニケーションマーク決定。
10月	石川国体リハーサル大会（第25回全国都道府県対抗自転車競技大会）開催。
10月	内灘中学校創立30周年記念式典。
10月	小濱神社（内灘町指定文化財）遷座100周年記念大祭開催。
12月	内灘南部地区土地区画整理組合設立。
平成 3年 10月	内灘砂丘放水路温泉利用として温泉スタンド及びサイクリングターミナルに温泉。
10月	第46回国民体育大会秋季大会（自転車競技）が本町で開催。
平成 4年 1月	財団法人内灘町公共施設等管理公社設立。
1月	内灘町統計書発行。
2月	町制施行30周年記念式典挙行。ビデオ「内灘の四季」完成。
4月	総合公園に屋内温水プール、テニスコート、福祉センター展望浴場完成。
4月	内灘幹部派出所が内灘交番へ名称変更される。
6月	平和都市宣言。
6月	第1回内灘町ジュニア美術展開催。
10月	故 竹野清次氏 内灘町名誉町民となる。
10月	第7回国民文化祭「海のうた全国作曲コンクール」が本町で開催。
12月	社会福祉法人「うちなだの里」うちなだ福祉作業所完成。
平成 5年 1月	内灘町人口2万5千人超える。
3月	第3次内灘町総合構想計画「うちなだビジョン21」を策定。
3月	内灘海水浴場に海岸公衆便所完成。

3月	町制施行30周年記念ビデオ「理想への飛翔～内灘30年の歩み～」完成。
4月	内灘町総合公園に展望台完成。サイクリングターミナルにバーベキュー施設完成。
7月	内灘町霊園第六期拡張工事完了。
8月	スクールバス新規購入する。
9月	第1回スポーツレクリエーション大会開催。
9月	故 中村小重氏 内灘町名誉町民となる。
9月	総合公園にグラウンドゴルフ場完成。
10月	中国・呉江市と国際友好都市提携。
10月	内灘町体育協会30周年記念式典挙行。
11月	総合公園サイクリングターミナル横に軽食堂施設完成（展望レストラン）
12月	内灘町商工会創立30周年記念式典挙行。
12月	都市景観形成基本計画検討委員会設置。
12月	内灘町総合公園テニスコートにクラブハウス完成。
平成 6年 3月	21世紀の高齢化社会に向け「内灘町老人保健福祉計画」策定。
3月	アカシア林帯遊歩道完成。（第1期）
3月	内灘町老人保健福祉計画を発行する。
4月	内灘町農業協同組合が合併により石川かほく農業協同組合となる。
4月	都市計画道路「東山内灘線」全線開通。
4月	総合公園南側に見晴台完成。
5月	第3次内灘町総合計画を発行する。
8月	内灘町文化会館開館15周年記念事業が開催。
11月	都市計画道路「大根布線」開通。（現役場横からハマナス地区）
12月	アカシア林帯遊歩道完成。（第2期）
平成 7年 1月	河北郡5町で指定ゴミ袋導入。
1月	「阪神淡路大震災」救助隊出動。
1月	防災行政無線の供用開始。
3月	第3セクター「マリンパーク内灘」業務開始。
3月	歴史民俗資料館「風と砂の館」オープン。
7月	紀宮殿下、総合公園ご視察。
9月	内灘町景観形成基本計画を発行する。
10月	向栗崎小学校が呉江市梅堰中心小学校と大根布東小学校が呉江市実験小学校と友好交流の調印。
12月	アカシア林帯遊歩道完成。（第3期）
平成 8年 2月	南部土地区画地域の字が「ハマナス」となる。

3月	向栗崎保育新築工事完了。
3月	林帯遊歩道整備事業完成。
3月	「河北潟流域生活排水対策推進計画」を策定。(1市5町)
3月	内灘南部地区土地区画整理工事完了。
4月	福祉センター「憩」「ほのぼの湯」増改築完成。
4月	校名変更、大根布小学校(旧大根布東小学校)・鶴ヶ丘小学校(旧大根布南小学校)。
4月	災害時に備え貯水槽新設(総合公園内飲料水100t)
4月	総合公園に船型遊具「大海賊船」が完成。
5月	ハマナス恐竜公園完成。
6月	泉源公園に「平和都市宣言像」を建立する。
9月	鶴ヶ丘小学校と呉江市第二実験小学校が交流の調印。
11月	内灘北部地区土地区画整理組合発足。
11月	河北潟放水路架橋(仮称内灘新橋)建設工事着工。
12月	機具橋の一方通行が供用開始される。
平成 9年 1月	ロシアタンカー「ナホトカ」の重油流出事故が起こる。
1月	内灘町行政改革大綱を策定する。
1月	「幹11号内灘海浜線」が供用開始する。
3月	西荒屋小学校体育館完成。
3月	内灘砂丘文学顕彰委員会発足。
3月	河北新斎場が新築完成。
3月	ハマナス町会設立。
4月	清湖小学校開校。
3月	内灘駅前公衆トイレ完成。
4月	東山内灘線横断歩道橋完成。
5月	内灘町役場新庁舎建設工事起工式。
12月	生涯学習推進基本構想「『学びの風』ビジョン21」を策定。
平成 10年 3月	生涯学習都市宣言。
5月	中国友好交流記念庭園完成。
7月	室地区ほ場整備組合設立。
9月	海と砂丘文学顕彰事業基金設置。
9月	社会福祉法人「内灘町福祉会」発足。
11月	第1回内灘砂丘フェスティバル・五木寛之論学会'98開催。
12月	内灘町役場新庁舎横に防火水槽を設置。

12月	国際友好都市の中国呉江市初代市長張●氏内灘町名誉町民となる。 (注) ●=金へんに玉
平成 11年 1月	内灘町役場新庁舎で業務開始。
2月	内灘町役場新庁舎横の敷地にタイムカプセル設置。
5月	アカシアロマンチック祭始まる。
7月	旧役場庁舎、内灘町保健センターとして開所。
10月	家畜排泄物処理施設完成、株式会社「河北潟ゆうきの里」設立。
11月	内灘町文化協会20周年記念式典挙行。
12月	「学びの風推進協議会」発足。
平成 12年 2月	特別養護老人ホーム「夕陽ヶ丘苑」開設。
4月	介護保険制度が始まる。
7月	北部土地区画地域の名称が「白帆台」に決定。
7月	内灘砂丘文芸スクールが開校。
10月	地域インターネット運用開始。
平成 13年 9月	内灘大橋「サンセットブリッジ内灘」開通。同日一般供用開始。
平成 14年 1月	町制施行40周年記念式典挙行。
4月	全国の公立学校で完全学校週5日制が始まる。
4月	ハマナス公民館完成。
7月	清湖小学校が呉江市鱸郷小学校と友好交流の調印。
9月	内灘町で石川県防災総合訓練が実施される。
9月	旧栗崎遊園の玄関ゲートを源泉公園に移設。
11月	内灘湊大橋開通式が開催され、同日暫定2車線の供用開始。
平成 15年 1月	河北郡RDF（ごみ固形燃料）製造施設「エコラ」が稼動開始する。
5月	内灘町風力発電所起工式開催。
5月	ビジュアル町史「砂丘に生きる町」発刊。
9月	河北潟環境対策期成同盟会（金沢市・河北5町）を設立。
10月	内灘町・呉江市友好都市提携10周年記念式典挙行。。
10月	内灘町体育協会40周年記念式典挙行。
11月	内灘町商工会創立40周年記念式典挙行。
平成 16年 3月	かほく市誕生。（宇ノ気町・七塚町・高松町が合併）
3月	内灘町風力発電施設完成。
4月	「働く婦人の家」が、「働く女性の家」と名称変更される。
12月	内灘町風力発電施設の愛称が、「サンセットウィング内灘」に決定。



平成 17年	4月	町情報公開制度、個人情報保護制度施行。
	4月	総合型地域スポーツクラブ「プラッツうちなだ」設立。
	6月	内灘町史第二編発行。
	7月	役場機構改革。町長部局を中心に4部9課9室に。
	7月	金沢市・内灘町行政連絡会発足。
	9月	内灘町子育て支援センターが保健センター内に開設。
	11月	コミュニティバス「おーしゃんループ」試行運転開始。
	12月	内灘町シルバー人材センター設立。
平成 18年	6月	白帆台集会所落成。
	10月	「内灘町と学校法人金沢医科大学との包括連携協力に関する協定」締結。
	10月	金沢ナンバー発進。
	11月	内灘町にインドIT企業が日本支店を開設。
平成 19年	3月	サンセットパークが道の駅「内灘サンセットパーク」として登録。
	4月	内灘町第4次総合計画策定。
	4月	内灘町子育て支援センターが向陽台へ移転。
	4月	(新)宮坂公民館落成。
	4月	サンセットカード事業開始。
	11月	複合商業施設コンフォモール内灘オープン。
平成 20年	2月	内灘町コミュニティバス実験運行開始。
	4月	金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令事務共同運用開始。
	5月	石川工業高等専門学校との連携協力に関する協定締結。
	7月	宮坂南線開通。
	7月	内灘町コミュニティバスの愛称が「なだバス ナディ」に決定。
	7月	5歳児健康診査が始まる
	8月	内灘町ファミリーサポートセンター開設。
	8月	大野川氾濫。
	9月	蓮湖渚公園開園。
	11月	北部土地区画の字の名称が白帆台に変更。
平成 21年	4月	内灘海岸及びサンセットブリッジ内灘周辺が「恋人の聖地」に認定される。
	4月	役場機構改革。環境政策課設立。
	4月	内灘中学校新校舎完成。
	6月	レジ袋無料配布中止。
	7月	内灘海水浴場にて第1回ビーチベースボール北陸大会 I N内灘開催。



## ◆石川県における内灘町◆

項目	単位	本町	県合計又は 県平均	調査時点
1. 土地総面積	km <sup>2</sup>	20.38	4,186.16	24.10.1
2. 町(字)数	町(字)	42	3,116	24.4.1
3. 世帯数	世帯	10,018	448,235	24.10.1
4. 人口	人	27,044	1,162,935	〃
5. 1世帯当たり人員	人	2.70	2.59	〃
6. 人口密度(1km <sup>2</sup> 当たり)	人	1,327.0	277.8	〃
7. 出生率(人口千人当たり)	人	6.8	8.2	平成23年
8. 死亡率(人口千人当たり)	人	8.3	10.3	〃
9. 人口動態(転入)	人	1,022	36,788	〃
10. 人口動態(転出)	人	908	37,831	〃
11. 年少人口(0～14歳)	人	3,921	155,866	24.10.1
12. 生産年齢人口(15～64歳)	人	17,195	709,065	〃
13. 老年人口(65歳～)	人	5,678	288,805	〃
14. 産業別人口総数	人	13,523	582,449	22.10.1
第1次産業人口	人	155	18,402	〃
第1次産業比率	%	1.1	3.2	〃
第2次産業人口	人	3,491	159,109	〃
第2次産業比率	%	25.8	27.3	〃
第3次産業人口	人	9,255	377,337	〃
第3次産業比率	%	68.4	64.8	〃
15. 事業所数	事業所	1,002	68,035	21.7.1
16. 事業所従業者総数	人	7,582	609,917	〃
17. 農業経営体数	戸	83	17,669	22.2.1
18. 耕地面積	ha	201	27,437	〃
19. 1経営体当たりの面積	a	257	160	〃
20. 農業産出額	千万円	207	5,904	平成18年
21. 製造業の事業所数	事業所	24	3,190	22.12.31
22. 製造業の製造品出荷額等	万円	345,964	237,422,104	〃
23. 従業者1人当たり製造品出荷額等	万円	948	2,528	〃
24. 卸・小売業商店数	商店	171	16,564	19.6.1
25. 卸・小売業従業者数	人	1,017	107,999	〃
26. 卸・小売業年間商品販売額	百万円	16,233	4,157,618	〃
27. 従業者1人当たり年間商品販売額	万円	1,596	3,850	〃
28. 国民年金被保険者数	人	5,623	221,839	平成23年度
29. 国民健康保険被保険者数	人	6,593	287,874	〃
30. 国民健康保険1人当たり療養諸費	円	334,865	354,483	〃
31. 国県市町道実延長	m	172,701	12,994,701	23.4.1
32. 市町道舗装率	%	98.8	88.5	〃
33. 市町道改良率	%	92.7	73.6	〃
34. 普通会計歳入決算額	千円	8,187,529	516,646,801	平成23年度
35. 歳入総額に占める市町村税の比率	%	30.9	33.5	〃

資料:『石川県市町勢要覧』『石川100の指標』